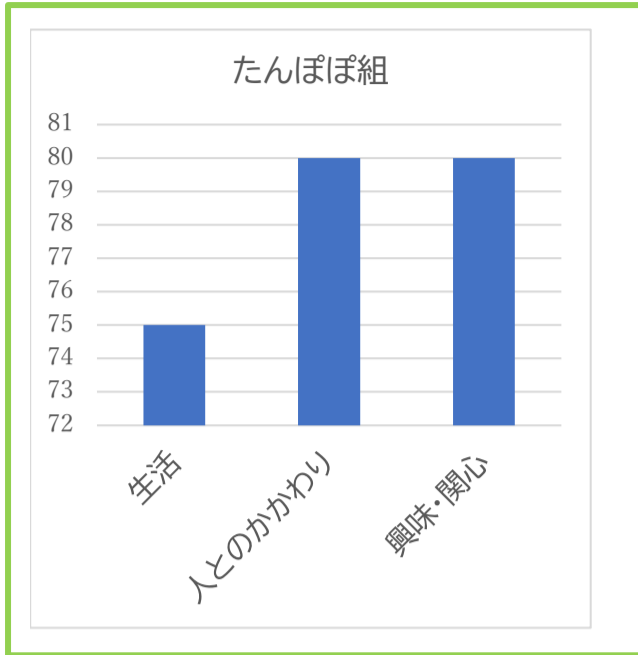


## 2023年度 自己評価 後期

### ①生活 ②人とのかかわり ③興味・関心

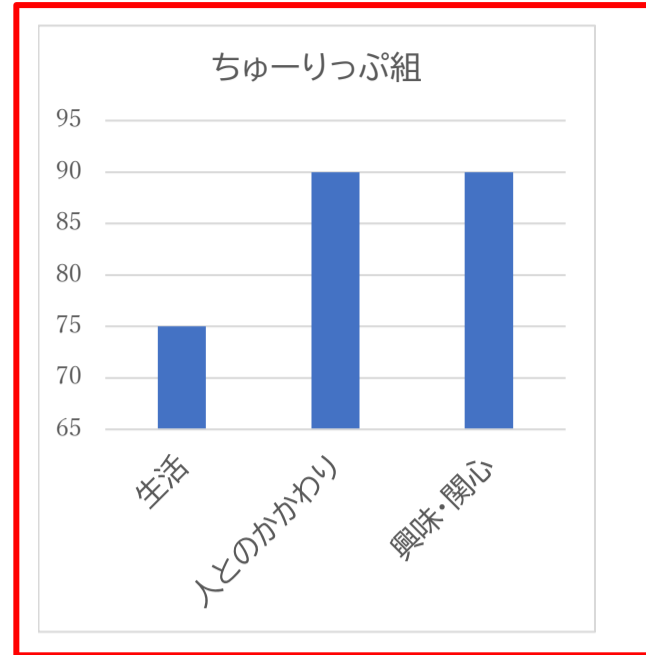


#### 目標

- ① 手づかみやスプーンを使って飲んだり食べたりするいろいろな食材にふれ、しっかりと咀嚼し食べる
- ② 保育士や友だちと関わりながら、仕草や言葉で伝える(ちょうだい・どうぞ等)
- ③ 絵本や紙芝居を喜んで見る  
様々な物にふれながら色や形に興味をもつ

#### 成果等

一人ひとりの成長に合わせて、ゆっくり関わることで、食事面や心身、また保育士や友だちとのかかわりなど日々の成長がたくさん見られて、とても嬉しく感じました。これからたくさんの言葉を習得するなど、成長が目に見えてわかる時期ですので、いろいろな活動の経験や読み聞かせ、ふれあいあそびを多く取り入れて、子どもに寄り添っていきたいと思います。

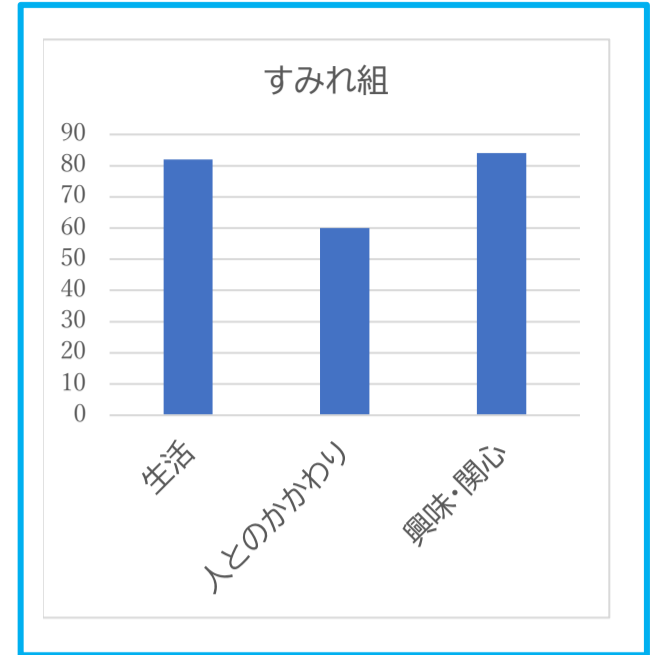


#### 目標

- ① フォークやスプーンを使い、正しい姿勢で食べる  
パンツで過ごし保育士に尿意や便意を知らせてトイレで排泄する
- ② 保育士や友だちとの関わりを喜び、簡単な挨拶やことばのやりとりをする
- ③ 手指を使った遊びに興味を持ち、楽しむ

#### 成果等

- ① フォークやスプーンを下握りに持って食べられるよう一人ひとりの様子を見守りながら、声かけをしていきました。子どもたちは上手に握れるようになり、食欲も出ておかわりをする子どもたくさん増えました。  
※上から握る癖がついているお子様がいますので、ご家庭でも引き続き声かけや見守りをお願いします  
トイレトレーニングはご家庭と連携できたことで、排泄習慣が身につき成長を感じています。また、子どもたちも自信や喜びにつながっているようです。
- ② 前期よりも保育士や友だちの関わりが深まり、また異年齢児の友達にも関心が芽生え一緒に遊ぶ姿がたくさん見られるようになりました。また関わりを通して言葉の獲得や発語の成長が著しく嬉しさを感じています。  
まだまだ言葉の成長が見られる年齢ですので、ご家庭でもたくさんの読み聞かせやふれあいを大切にしてください。
- ③ 手先の発達を促進できるような遊び(ひも通し・粘土・ポットンおとし・糊やシールの製作)を取り入れました。子どもたちはいろいろな遊びに興味を持ち、楽しんで取り組みました。並べる・つなげる・積み重ねる・ちぎるなど上手にできるようになり集中力も高めることができました。



#### 目標

- ① 正しい箸の握り方を知り、箸の使い方に慣れる  
着替えや持ち物の始末など身の回りのことを自分でする
- ② 保育士や友だちの話をきちんと聞いたり自分の思いを言葉で伝えたりする
- ③ 運動遊びを楽しむ(マット・跳び箱等)  
はさみを使うことに慣れる

#### 成果等

- ① 箸使いは最初持ち方もままならない感じでしたが、手を添えて持ち方を知らせていくうちに「先生こうやろ?」と自信满满に子どもたちは教えてくれるようになりました。  
身のまわりは一人ひとりのペースに合わせて一緒に取り組むことで、ほぼ1人で出来るようになりました。慣れてくると1番が目的になり、雑になってしまいがちだったので、丁寧にすることを今後は伝えていこうと思います。
  - ② まだまだ言葉よりも手が出てしまうことがあります。少しずつ「〇〇してね」や「△△しないで」などの言葉が聞こえるようになりました。子どもたちのやり取りを見守りながら、言葉が不足しているときは仲立ちをしていきたいと思っています。
  - ③ 運動遊びは意欲的に取り組んでくれました。マットや跳び箱太鼓橋などいろいろな用具を使って体を使う楽しさを教えることができました。  
はさみの活動では子どもたちがすごく興味を持ち、最初は一発切りから取り組み連続切りまで進むことができました。まだあぶなっかしい所はありますが、これからも経験させていきたいと思っています。
- ※1年を通してできることがたくさん増えました。